

厚生労働科学研究補助金（労働安全衛生総合研究事業）  
労働安全衛生法に基づく歯科医師による健康診断のより適切な実施に資する研究

（分担）研究報告書

「労働安全衛生法に基づく歯科医師による有害業務健診の実施状況について」  
～一部の労働局の統計データを用いた業種等の分析～

分担研究報告書(令和4年度)

分担研究者	上野 晋	産業医科大学職業性中毒学 教授
研究代表者	上條 英之	東京歯科大学歯科社会保障学 教授
研究協力者	城徳 昭宏	城徳歯科医院 院長 日本労働衛生研究協議会

研究要旨：

歯科医師による有害業務に従事する者に対する歯科健診については、約60年以上にわたり、該当する事業所で法定健診として実施されてきているが、最近の実施状況についての把握は全国的にほとんど行われていないことから、一部の厚生局等から収集を行ったデータをもとに、状況把握を試みた。

6か所の労働局の公開データをもとに調査を行ったところ、単純平均で有所見者率は約1割で、2017年(16%)と2021年(11%)との比較で、労働局によっては、減少トレンドは示されていないものの、有所見率は単純平均では、減少傾向を示していた。

また、歯科医師による歯科健診（有害業務）の実施状況は、2つの労働局での結果によると、一般健康診断の実施者に対して、単純平均で1.6%であり、実施割合が比較的高い業種は、2つの厚生局でいずれも、製造業に位置付けられている「金属製品」、「電気機器」、「化学工業」であった。

今後、就業者の高齢化が進む中で、医科歯科連携による保健医療システムの整備が求められている実状から歯科健診（有害業務）と一般健康診断との関連についての把握も必要になってくると考えられた。

なお、歯科健診の実施基準について、統一的な指針等は示されていない状況で、歯科健診（有害業務）が実施されている実状から、今回収集を行ったデータについて、実施基準を含め、検証の余地があると考えられ、今後、詳細な調査の実施を図ることが必要であると考えられた。

A. 研究目的

歯科医師による有害業務に従事している者の健診は、労働安全衛生法66条の第3項等の規定により、塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素等、歯又はその支持組織に有害な物ガス、蒸気又は粉じんを発散する場所での業務に従事している場合、歯科医師による健康診断を受けることが労働者に対して義務付けられており、令和4年10月1日からの労働安全衛生規則の一部改正により、50人未満の事業所の場合、毎年実施している歯科健診の報告義務が課せられるように

なったが、労働安全衛生法に基づく歯科医師の健康診断の対象となる者についての詳細な分析はほとんど行われていない。一方で事業所における適切な化学物質管理の重要性が高まる中、事業所での自主的な衛生管理への対応が求められる中で、有害業務歯科健診は、一部の強酸を対象としているものの、職場での労働衛生管理を推進していく上でも、影響する可能性のある健康診断の項目の一つであると考えられる。

さらに、有害業務に従事している場合、我が国の労働環境の変化に伴い労働者の高齢

化が急速に進んでいる状況から、歯科所見のみならず、一般所見についても、基礎資料として、把握するのが適切と考えられる。

このような背景を踏まえ、歯科医師の有害業務健診の結果について、有害業務歯科健診の実施状況と受診者の業種並びに基礎疾患の状況を把握することをねらいとして既存の統計資料を用いて、状況把握を試みることとした。

## B. 研究方法

労働安全衛生法に基づく歯科健診の実施状況について、有所見率に関するデータが一般健康診断の所見率に関するデータとともに、平成2(1990)年度~6(1994)年度まで、労働衛生のしおりで公表されていたが、現在は、全国のデータとしての公表は行われていないのが実状で、全国的な統計データの把握は難しくなっているが、かつて所見率の全国データが示されていたことに伴い、個々の労働局の統計についての公表データをWEB上で調べるとともに、一部の労働局への問い合わせを行い、2017年度から2021年度までの比較が可能なデータについて、調査データとして比較を行うこととした。解析に当たっては、歯科健診の実施者に着目して、法定の一般健診実施者に占める歯科健診実施者を

また、長野労働局と神奈川労働局では、有害業務に従事している労働者の歯科健診について、年度毎の実績について、業種別に状況を確認することが可能であることに着目するとともに、法定の一般健診に占める割合を算出することが可能となることから、

解析に当たり、歯科健診の実施者に着目して、法定の一般健診実施者に占める歯科健診実施者を算出するとともに、各業種での割合についても算出を試みることとした。

また、業種別の一般健康診断の有所見率について、歯科健診実施者の占める割合が高い業種について、平均を超える有所見の項目を選定することで、予備的な状況観察を今年度は試みることとした。

## <倫理面への配慮>

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号1140)。

## C. 研究結果

### 1. 有害業務歯科健診の実施者数、有所見率の状況

6か所の労働局でまとめられている統計データの単純平均では、2021年度でいわゆる有害業務歯科健診の有所見者率は、2021年の時点では10.6%で、2017年度に比較して、単純平均では、有所見者率が減少している状況であった。また、6か所の労働局で、歯科健康診査を実施した人数には差があるが、平均では、1か所あたり、約5000人が有害業務歯科健診を行っていた。

### 2. 一般健康診査受診者に対する歯科健診(有害業務)受診者の割合(令和3年度)

一般定期健康診査の実施者数は、令和3年度で、神奈川労働局の場合、734,391人、長野労働局の場合、187,315人で、歯科健診(有害業務)を受けている者は、神奈川労働局、9,553人、長野労働局3,515人で、一般定期健診に占める歯科健診(有害業務の場合)の受診者の割合は、神奈川労働局で1.3%、長野労働局の場合、1.9%を示し、2つの労働局の単純平均で、約1.6%であった。

### 3. 一般健康診断受診者に占める歯科健診受診者(有害業務)の状況

法定の一般健診の受診者を100とした場合の歯科健診受診者の実施者数の割合を算出したところ、歯科健診(有害業務)の割合が高い業種は神奈川労働局の場合、「金属製品製造業」6.0%、化学工業4.8%、「電気機械器具製造業」2.7%が高く、長野労働局の場合、「室業土木」7.6%、「電気精器」6.2%、「金属製品」、5.6%が高い割合を占めし、製造業の場合、非鉄金属、化学工業が続いた。

### 3. 歯科健診(有害業務)の実施割合の高い業種の平均有所見率を上回る健康診断項目

神奈川労働局の場合、上位業種で一般健康診断の平均有所見率を上回るのは、金属製品製造業の場合、有所見者全体の割合と聴力(1000HZ、4000HZ、その他)、血圧、肝機能で、化学工業の場合、血圧、電気機械器具製造業の場合、有所見者の割合の他、聴力(その他)、肝機能、血中脂質で、このうち2業種で、有所見者と聴力(その他)、肝機能が上回っていた。また、長野労働局の場合、平均有

所見率を上回っているのは、「室業土木」の場合、有所見者、聴力（4000HZ、その他）、血圧、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸、心電図で、「電気機器」の場合、喀痰、血圧、肝機能で「金属製品」の場合、聴力（4000HZ、その他）、血圧、肝機能、血中脂質であった。これら3業種で、いずれも有所見者の平均値を上回ったのは、血圧と肝機能であった。また、2業種で有所見率の平均を上回ったのは、有所見者の割合の他、聴力（4000HZ、その他）、血圧、肝機能、血中脂質であった。

#### D. 考察

##### 1) 有害業務を伴う歯科健診の有所見率の状況

健康増進事業に基づく成人に対する歯科健康診断の場合は、実施主体が行政機関等であることから健診基準に対するマニュアル等が示されているが、労働安全衛生法に基づく法定歯科健診の場合、酸蝕症等の歯科健診を行う場合が多いが、国の通知等に基づく健診基準等のマニュアルは示されていないのが実状で、日本歯科医師会が発行している「歯科医師のための産業保健入門」で健診基準のひな型が示され、事業所での有害業務歯科健診への対応を行っている都道府県の歯科医師会が健診の実施方法についてのマニュアル等を示しているが、必ずしも統一的な健診の実施方法について、周知がされている状況にではないのが実状となっている。

また、今回、示したデータで、有所見率について、労働局の間で違いがあるのは、健診の基準に差があることや年齢、性別での業務の違い等様々な要因が関係している可能性が考えられ、更なる調査が必要であることを示唆しているともいえる。

なお、6労働局のデータを単純平均して、最近の年次推移を示すと、有所見率が減少の傾向を潮流として示しているが、2022年10月からの50人未満の事業所での健診実施に関する報告義務が課せられる等の制度改正が行われている状況がどの程度影響してくるかについては、今後の課題として、対応していく余地があると考えられる。

なお、事業所での自主的な管理を進めていく上で、3管理を行いやすくできるよう、

環境整備を行っていくことが事業所における保健サービスを定着していく上で必要と考えられ、歯科口腔保健の側面でも、有害業務健診を行うことで、作業環境管理、作業管理の円滑な推進ができる環境整備につながる知見を集めていくことが今後必要になると考えられる。

##### 2) 歯科健診（有害業務）の受診者の割合

歯科医師による有害業務での健診診断の実施状況の把握の一環として、業種別でみると、神奈川県と長野労働局の調査で、法定で実施されている一般健康診査に対して、歯科健康診査を実施している割合は、2つの労働局の数値を単純に平均すると1.6%であった。国全体の把握データとはなっていないが、他の労働局での調査成績を解析することが状況把握としては有用であり、基礎データの一つとして位置づけがされるのではないかと考えられる。

##### 3) 一般健康診査の受診者割合の高い業種について

労働安全衛生法での規定から、一部の強酸等の化学物質を取り扱っている場合を想定していることから、歯科健診（有害業務）を受けている者は、製造業がほとんどで、化学物質を取り扱っている業種が想定されるが、今回、2つの労働局では、法定の一般健診の受診者に占める歯科健診（有害業務）の割合が高い職種はいずれも金属製品、電気機器、化学工業等であり、法定健診で位置づけられている化学物質との関連が強い状況を示していた。詳細な把握を行っていく上では、その他の労働局のデータの把握が必要となると考えられる。また、それぞれの労働局のデータは、その地域の産業特性が反映されると推察されるが、今後、更なる解析を行っていく余地があると考えられる。

##### 3) 法定の一般健診での有所見者と歯科健診（有害業務）の有所見者

有害業務歯科健診の対象となっている者がどの程度、通常的一般健診において、有所見者が多くなるかの視点での解析は、従来行われていないのが実状であり、医科歯科連携の推進の余地を今後調べていく上では、高齢化による影響等複合的な要因が絡むの

で、詳細な把握は難しい側面があるが、有害業務歯科健診の割合が高い業種での有所見者の状況と一般健診の有所見者の状況を調べていく視点が必要になると考えられる。今回のデータは、業種別の単純な所見に関するデータであり、今後、基礎データを把握した上で、詳細な把握を行う余地があるとともに、産業保健を推進していく上で、自主的な管理を企業が進めていくことが望まれる状況から、更なる調査研究の余地があると推察される。

#### E. 結論

歯科医師による有害業務歯科健診の状況把握を目的として6か所の労働局の公開データをもとに調査を行ったところ、有所見者率は、約1割で、2017年と2021年の比較で減少傾向を示した。また、歯科医師による歯科健診(有害業務)の実施状況は、2つの労働局での結果では、一般健康診断の実施者に対して、単純平均で1.6%であり、法定の一般健診実施者に対しての歯科健診実施割合が比較的高い業種は、2つの厚生局でいずれも、製造業に位置付けられている「化学工業」、「金属製品」、「電気機器」であった。この他、有所見者に対する基礎疾患の状況把握を含め更なる詳細な把握が必要であると考えられた。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし

表1 一部労働局の有害業務歯科健診の有所見者率、実施者数の状況							
	福島	神奈川	長野	兵庫	山口	香川	単純平均
	<b>有 所 見 率</b>						
2017	15.5%	26.9%	6.1%	19.2%	2.9%	23.9%	15.7%
2018	8.5%	17.2%	13.4%	17.8%	4.5%	15.2%	12.8%
2019	7.3%	17.0%	9.7%	17.5%	2.3%	20.2%	12.3%
2020	3.8%	10.6%	8.3%	16.7%	1.7%	26.6%	11.3%
2021	6.3%	9.7%	11.2%	11.5%	1.3%	23.4%	10.6%
	<b>有害業務歯科健診実施者数</b>						
2017	4,015	12,741	2,753	10,980	2,977	1,380	5,808
2018	3,738	10,537	3,477	12,201	3,323	1,317	5,766
2019	3,777	12,279	3,468	11,836	3,095	1,210	5,944
2020	3,165	9,037	3,520	8,233	3,182	542	4,613
2021	3,624	9,533	3,515	8,631	3,703	755	4,960

業種	受診者数	歯科健診実施者数	歯科健診実施割合	歯科健診で の有所見率	有所見者 の割合	聴力		聴力(その 他)	胸部X線	喫煙	血圧	貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿(蛋白)	心電図
						1000HZ	4000HZ											
製造業	30972	516	1.7	2.9	56.4	6.3	6.8	0.6	4.7	0.4	18.0	7.7	14.8	30.4	11	3.0	3.2	8.3
化学工業	26239	1272	4.8	1.5	56.8	3.1	5.5	0.2	3.7	0.5	18.0	5.6	17.1	31.4	11.1	2.8	2.2	7.5
金属製品製造業	7240	431	6.0	19.3	58.8	4.3	9.5	0.3	3.4	0.0	20.4	4.1	19.9	31.0	11.3	2.7	2.9	8.9
一般機械器具製造業	24041	373	1.6	1.1	59.5	2.9	6.7	0.5	5.5	0.0	18.9	4.7	21.4	33.0	12.1	2.9	2.5	8.5
電気機械器具製造業	36090	964	2.7	0.8	59.4	3	5.6	0.7	5.3	0.9	15.9	4.5	20.9	34.5	11.5	3.6	2.0	9.5
輸送用機械等製造業	32168	409	1.3	1.0	60.5	4	11.6	0.2	6.3	0	18.4	7.3	23.6	33.7	14.8	3.2	4.6	9.8
上記以外の製造業	33773	908	2.7	0.8	58.1	4.1	8.6	0.2	5.2	9.0	19.6	5.9	19.5	31.8	11.4	3.5	2.9	10.5
小計	190523	4873	2.6	2.9	58.5	3.9	7.2	0.4	5.1	1.7	18.2	5.9	19.6	32.5	12.0	3.2	2.9	9.2
建設業	2261	0	0.0	0.0	73.5	8.0	19.2	0	10.4	0.0	25.4	7.7	22.6	34.0	16.0	6.1	9.3	11.6
土木工事業	7103	1	0.0	0.0	60.2	3.3	7.9	2.7	4.6	0.0	17.4	6.3	18.2	33.4	12.1	3.3	3.2	9.7
建設工事業	7764	3	0.0	0.0	65.7	3.1	6.1	2.4	5.5	17.3	18.0	10.6	22	40.9	13.4	4.5	3.8	9.2
その他の建設業	17128	4	0.0	0.0	64.4	3.8	8.7	2.5	5.7	5.8	18.7	8.4	20.5	36.9	13.2	4.2	4.3	9.8
小計	54900	0	0.0	0.0	64.7	4.9	12.6	0.8	6.7	48.2	24.4	7.2	19.0	36.2	14.4	5.2	5.5	11.4
製造業、建設業以外	89165	430	0.5	15.1	59.1	4.9	5.5	0.6	3.9	2.8	19.1	8.3	12.9	33.4	12.2	3.3	2.9	8.5
商業	382675	4226	1.1	17.1	57.7	3.5	5.9	0.4	5.5	5.2	15.3	8.0	16.9	32.9	10.9	3.0	3.9	10.7
上記以外の事業	734391	9553	1.3	9.7	58.3	3.9	6.9	0.5	5.3	4.4	17.3	7.5	17.3	33.2	11.6	3.3	3.6	10.0
合計																		

註 ゴシックは歯科健診実施割合が高い業種、アンダーラインは所見割合の平均を上回っている場合

表3		長野労働局での定期健康診断、歯科健診の受診状況（令和3年分）																
業種	受診者数	歯科健診実施者数	歯科健診実施割合	歯科健診での 有所見率	有所見者の割合	個々の項目の所見割合				貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿(蛋白)	心電図		
						聴力 1000HZ	聴力 4000HZ	聴力(その他)	胸部X線								喀痰	血圧
製造業	11969	20	0.2	2.9	56.9	5.1	7.9	0.5	4.9	0	18.6	11.1	14.0	31.0	11.0	3.4	3.7	10.6
	82	0	0.0	0.0	61	3.7	10.4	0.0	2.4	0	17.1	18.3	13.4	25.6	8.5	1.2	0.0	13.4
	422	0	0.0	0.0	61.1	2.1	2.9	0.0	2.6	0	16.8	18.2	11.8	32.5	9.2	3.1	4.8	8.8
	452	0	0.0	0.0	63.9	3.8	7.5	0.0	5.2	0	18.6	15.7	19.0	33.0	13.1	2.9	3.3	8.4
	227	0	0.0	0.0	70.5	5.7	13.2	0.0	7.5	0	18.9	7.9	12.3	39.2	8.8	2.7	8.4	10.6
	733	0	0.0	0.0	57.3	2.5	6.8	0.0	4.1	0	14.5	4.9	17.0	28.9	8.4	2.1	3.7	8.7
	1266	0	0.0	0.0	60.4	2.5	5.9	0.0	4.5	0	18.8	10.3	16.6	34.2	13.4	2.5	3.2	9.8
	4639	92	2.0	1.5	55.6	3.6	7.4	0.0	2.8	0	17.3	7.4	16.3	28.4	9.9	2.6	2.7	8.1
	1513	115	7.6	0.0	63.2	2.6	8.6	0.8	2.0	2.1	21.6	6.6	17.4	38.1	13.9	4.0	2.0	9.3
	234	0	0.0	0.0	88.9	2.1	4.3	0.0	9.6	0	30.8	15.8	35.0	53.8	28.6	2.1	1.7	9.4
	1164	27	2.3	0.0	55.4	4.2	11.6	0.6	4.0	0	19.8	6.3	15.8	29.8	10.9	3.4	1.7	8.9
	6798	383	5.6	11.5	57.6	3.7	9.6	3.3	3.3	0	17.9	7.8	16.4	31.5	9.6	2.9	3.0	7.6
	26521	219	0.8	1.8	58.4	3	7.2	0.5	3.6	20.0	15.2	5.9	17.5	33.5	8.8	2.7	2.5	7.7
	36659	2272	6.2	12.7	57.5	2.8	5.4	0.3	4.4	24.2	18.1	6.3	16.5	30.8	10.7	3.2	2.4	7.9
	8403	175	2.1	0.0	60.2	3.2	10.2	0.1	2.6	7.1	17.4	8.1	17.8	31.0	11.0	2.6	2.5	8.5
	1444	0	0.0	0.0	73.4	2.1	7.8	1.6	6.9	8.3	16.8	21.8	21.2	40.8	13.8	2.7	3.0	16.0
	1595	31	1.9	0.0	60.1	4.6	9.5	0.0	4.0	6.1	19.1	9	16.0	31.9	11.0	4.2	2.8	10.2
	103119	3334	3.2	10.1	58.3	3.3	7.1	0.4	4.0	9.9	17.4	7.5	16.7	31.9	10.3	3.0	2.7	8.4
鉱業	8	0	0.0	0.0	87.5	12.5	25	0.0	0.0	0	37.5	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5	0.0
建設業	1346	0	0.0	0.0	70	6.0	18.1	0.0	9.5	0.0	25.4	7.3	24.3	37.9	20.5	6.1	4.3	13.3
	2705	14	0.5	0.0	58.8	3.1	11.2	1.3	5.0	0.0	18.4	5.2	17.4	31.7	15.0	3.7	2.9	8.1
	1165	0	0.0	0.0	65.1	4.7	10.7	2.6	6.2	16.3	18.8	6.8	20.5	32.4	16.7	4.0	2.7	11.0
	5216	14	0.3	0.0	63.1	4.2	12.9	1.6	6.4	2.2	20.3	6.1	19.9	33.5	16.8	4.4	3.2	10.1
運輸交通業	1258	0	0.0	0.0	41	2	3.1	0.0	3.0	0	12.1	5	14.2	27.1	13.0	3.2	2.6	6.6
	1748	0	0.0	0.0	62.4	7.4	18.1	0.0	9.7	0	25.3	8.5	19.7	31.3	19.1	6.8	6.1	12.2
	5570	0	0.0	0.0	54.9	3.8	9.1	0.3	4.0	0	19.0	6.2	14.6	8.4	11.6	4.3	3.7	8.8
	8576	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸上貨物	238	0	0.0	0.0	54.4	4.2	9.9	0.4	4.9	0	19.3	6.5	15.6	28.8	13.3	4.6	4.0	9.2
その他の業種 (林業含む)	360	2	0.6	0.0	72.7	7.2	13.1	0.0	4.9	0	21.0	9.1	18.6	37.2	18.2	5.0	4.2	7.5
	63	0	0.0	0.0	66.4	5.9	10.3	0.0	3.9	0	17.5	6.1	17.3	33.4	11.7	3.9	2.0	11.4
	17658	1	0.0	0.0	69.8	7.9	25.4	0.0	3.2	0	11.1	13.1	13.1	29.5	14.8	9.5	4.8	10.0
	5701	0	0.0	0.0	58.4	5.5	5.9	0.1	2.4	0	22.2	10.1	11.4	30.4	11.9	3.9	2.6	7.5
	10	0	0.0	0.0	53.2	4	4.2	0.1	3.9	0	14.6	9.6	10.4	31.2	9.2	1.6	1.5	12.1
	3394	0	0.0	0.0	80	0	10	0.0	0.0	0	20.0	20.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	2604	42	1.6	40.5	58.1	7.6	9.5	0.2	3.2	0	17.8	4.0	19.4	36.6	10.4	3.0	5.0	12.4
	20649	0	0.0	0.0	64	2.4	5.2	0.0	4.6	0	19.5	7.2	19.6	35.5	14.2	2.4	1.9	9.9
	4657	108	2.3	38	60.5	4.2	8.4	0.4	6.2	0	19.9	8.1	16.1	33.9	18.5	4.6	4.7	10.7
	2165	0	0.0	0.0	70.4	6.4	13.4	5.2	7.8	0	27.3	8.9	14.9	39.0	15.9	6.0	4.3	11.2
	1050	0	0.0	0.0	58.4	2.4	4.4	0.0	5.6	0	18.5	13.0	12.5	31.8	12.5	3.2	2.0	8.5
	11347	14	0.1	0.0	55.7	3.4	6.6	0.2	6.1	0	15.8	8.7	16.5	28.0	11.7	3.5	3.2	7.9
	70158	167	0.2	0.0	56.6	4.4	6.3	0.2	4.3	1.4	17.3	8.9	13.4	30.0	11.6	3.2	3.2	9.1
合計	187315	3515	1.9	11.2	57.6	3.8	7.2	0.3	4.2	5.2	17.5	7.9	15.5	31.1	11.1	3.2	2.9	8.8

注 ゴシックは歯科健診実施割合が高い業種、アンダーラインは所見割合の平均を上回っている場合